

パネル展示

4年生・下級生の引き継ぎ集会での壁新聞  
西東京市立保谷第2小学校  
学校獣医師 中川美穂子

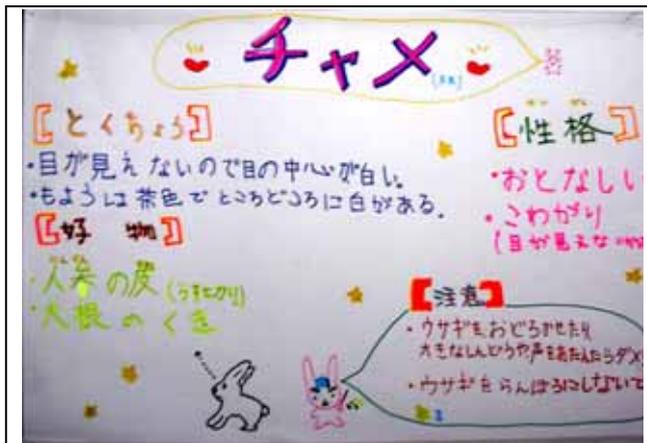
当校では、4年生が総合の教育課程に飼育を位置づけている。4年生は5月の飼育導入事業からはじまって、ふれあい体験、獣医師への質問会、など一年間いろいろなことを経て、学年末の3月に下級生に飼育を引き渡す。

その引き継ぎ集会では、「命のバトンを渡そう」とのスローガンのもと、下級生に少しでも良く世話をしてもらいたいという気持ちから、世話の仕方や性格、生活のさせ方などを説明して書いた壁新聞を紹介し、下級生の質問に答える。

その引き継ぎ集会での壁新聞、動物説明用の資料などの一部を紹介する。

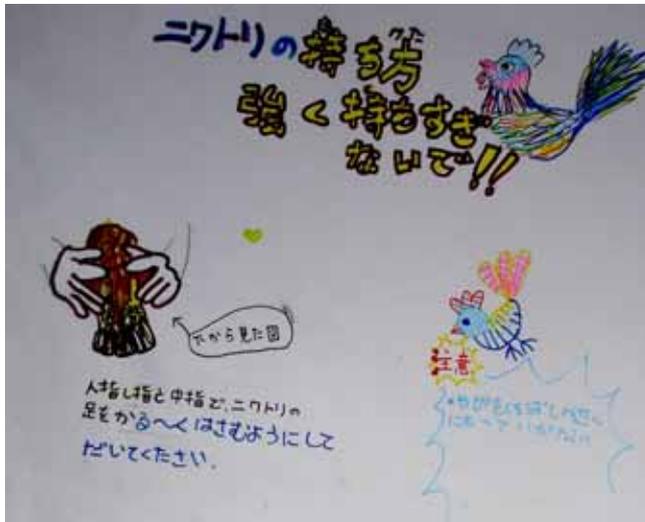
ウサギの性格などの紹介

\* チャメは目が見えないからこわがり。  
驚かさないと



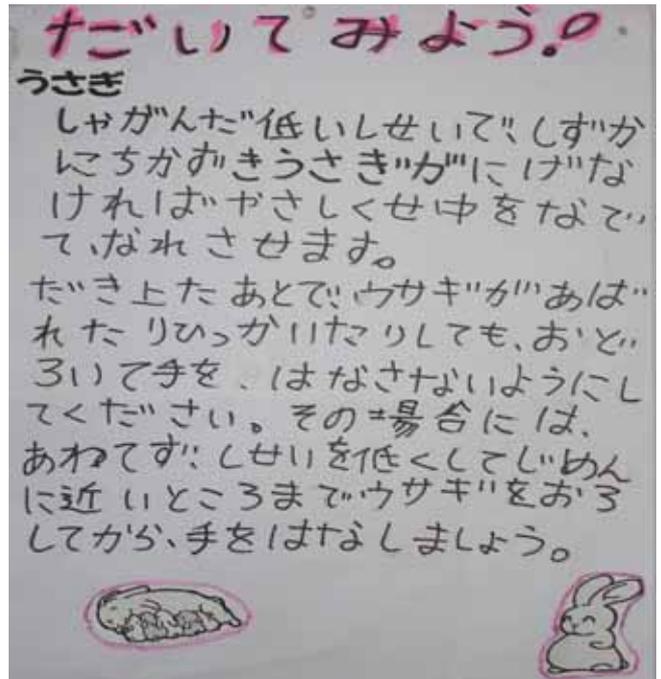
チャボの抱き方

\* 下から見た図で説明している



ウサギの抱き方説明

\* 暴れたら、手をはなさずに姿勢を低くしてじめんに近いところまでウサギをおろして放す。



ウサギの健康説明新聞



動物への気遣いであふれているが、飼育の最初には動物の糞を汚いと世話を嫌がるが、そのうち「きれいにしないと可哀想」と思うとのこと。